



TITLE:

# 三樹会病院における臨床統計： 1985-1989年間の入院患者・手術統計

AUTHOR(S):

丹田, 均; 加藤, 修爾; 大西, 茂樹; 中嶋, 久雄; 氏家, 徹;  
坂, 丈敏; 毛利, 和富

---

CITATION:

丹田, 均 ...[et al]. 三樹会病院における臨床統計 : 1985-1989年間の入院患者・手術統計. 泌尿器科紀要 1992, 38(1): 109-120

ISSUE DATE:

1992-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/117438>

RIGHT:

# 三樹会病院における臨床統計 —1985～1989年間の入院患者・手術統計—

医療法人(社団)三樹会病院

丹田 均\*, 加藤 修爾, 大西 茂樹, 中嶋 久雄  
氏家 徹, 坂 丈敏\*\*, 毛利 和富\*\*\*

## CLINICAL STATISTICS OF THE UROLOGICAL CLINIC OF SAPPORO SANJUKAI HOSPITAL CLINICAL STATISTICS ON PATIENTS ADMITTED FROM 1985 TO 1989

Hitoshi Tanda, Shuji Kato, shigeki Ohnishi, Hisao Nakajima,  
Toru Ujiie, Taketoshi Saka and Kazutomi Mori

*From the Urological Clinic of Sanjukai Hospital*

A clinical statistic survey was carried out on the patient admitted, diseases and operations experienced at our urological clinic during 1985~1989.

The total number of inpatients was 8,750 (The male to female ratio was 2.8 : 1).

The major diseases of the impatients were urolithiasis (4,134 cases, 47.2%) and benign prastatic hypertrophy (1,529 cases, 17.5%).

Among the operations extracorporeal shock-wave lithotripsy 2,589 cases (44.6%) and transurethral resection of prostate 1,295 cases (22.3%) were predominant.

(Acta Urol. Jpn. 38: 109-120, 1992)

**Key words:** Clinical statistics, Inpatient clinic

### 緒 言

三樹会病院の入院患者統計はすでに東札幌三樹会病院における臨床統計, 開設(1978年11月1日)より5カ年間あまりの入院および手術統計として第4報にて報告し, 1984年度の入院患者統計として第5報にて報告してきた。今度, その後の5年間(1985年より1989年度)の入院患者疾患および手術統計を行ったので報告する。

1984年9月にESWLを導入して以来, また, その周辺技術である endourology の進歩により, 手術統計を著しく変動させた。

### 対 象 と 方 法

1985年1月1日より1989年12月末日までの5カ年間に三樹会病院(1978年11月1日～1986年3月まで東札

幌三樹会病院として, 1986年4月1日より医療法人(社団)三樹会病院と名称変更した。98床, 透析ベッド20)に入院し退院した患者8,750例の疾患および手術を対象とした。統計法は原則として, 第4, 5報に準じた。その他, 統計上非常に煩雑になって人工腎透析患者の透析後のトラブルや結石患者で何回もESWL\*<sup>1</sup>を中心にPNS\*<sup>2</sup>, PNL\*<sup>2</sup>, UUL\*<sup>4</sup>尿管ステントの挿入, 抜去法を受けた場合は, 手術か処置かの区別もはっきりしないこともあり, 別表にて結石患者の手術処置としてまとめた。それ以外の手術数は, 結石以外の疾患に対して, 施行した例数である。

\*<sup>1</sup>: Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy

\*<sup>2</sup>: Percutaneous nephrostomy

\*<sup>3</sup>: Percutaneous nephrolithotripsy

\*<sup>4</sup>: Ureteroscopic Ultrasonic Lithotripsy

また, 今回の統計から入院患者統計は, 年度単位に退院した患者を対象としている。同一患者でとくに透析を受けている人や, 結石等で入退院を頻回に繰り返しているため, 当院の外來統計の報告と一部異なった

\* 札幌医科大学泌尿器科学教室非常勤講師

\*\* 現: 坂泌尿器科病院院長

\*\*\* 現: 江別泌尿器科クリニック院長

ことをお断り致します。

## 結 果 と 考 察

### 1. 入院患者数

この5年間の入院し退院した患者総数は8,750例であった。平均、1,750例(男1,290.4例,女459.6例)で、男女比は2.8:1であった(Table 1)。この男女比は従年の報告では、2.5:1~4.7:1であり、大差なかった。

年齢層別にみると、Fig. 1 に示したが、毎年加齢とともに漸増している。ピークは50歳代、60歳代であった。0~10歳代は他の年代群と比し、わずかに頻度

であった。

手術を受けた例数は、男5,802例(4,496例,女1,306例)であった(Table 2)。これを入院期間を1カ月以内とそれ以上に別けてみると、男では1カ月以内が3,840例(85.4%)、それ以上が656例(14.6%)であった。女では、1カ月以内が1,138例(87.1%)、それ以上が168例(12.9%)であった(Table 3)。

これを30歳まで、31~60歳代、61歳以上に別けて検討すると、Table 3 に示したごとく、男で61歳代以上ではあきらかに入院期間が長くなっている。女で同様傾向を示した。例数は男は、60歳未満と61歳以上で

Table 1. 入院患者数 (1985~1989年度)

性 別 \ 年 度	1985	1986	1987	1988	1989	計
男	1234例 ( 71.8%)	1270例 ( 76.9%)	1204例 ( 75.5%)	1429例 ( 73.7%)	1315例 ( 71.2%)	6452例 ( 73.7%)
女	485例 ( 28.2%)	382例 ( 23.1%)	390例 ( 24.5%)	510例 ( 26.3%)	530例 ( 28.8%)	2298例 ( 26.3%)
計	1719例 (100.0%)	1652例 (100.0%)	1594例 (100.0%)	1939例 (100.0%)	1846例 (100.0%)	8750例 (100.0%)

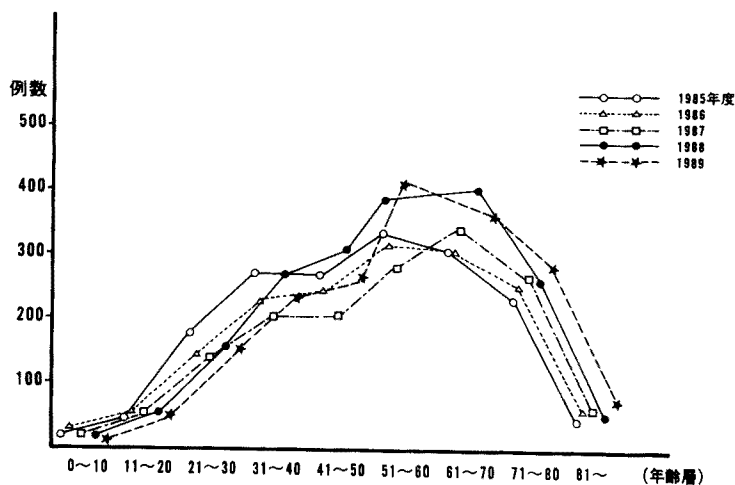


Fig. 1. 年齢層別症例数 (1985年~1989年度)

Table 2. 手術を受けた症例数

男女別 \ 年度別	1985	1986	1987	1988	1989	計
男	863例 ( 76.3%)	836例 ( 78.8%)	767例 ( 81.8%)	1073例 ( 77.7%)	957例 ( 74.1%)	4496例 ( 77.5%)
女	268例 ( 23.7%)	225例 ( 21.2%)	171例 ( 18.2%)	308例 ( 22.3%)	334例 ( 25.9%)	1306例 ( 22.5%)
計	1131例 (100.0%)	1061例 (100.0%)	938例 (100.0%)	1381例 (100.0%)	1291例 (100.0%)	5802例 (100.0%)

Tabel 3. 年齢層と入院期間別にみた症例数

年齢層別 入院期間別	年齢層別											計									
	0～10	11～20	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	81～												
男女別	≤1M	>1M	≤1M	>1M	≤1M	>1M	≤1M	>1M	≤1M	>1M	≤1M	>1M	(計)								
男	62	0	75	2	282	16	496	41	539	50	737	81	949	174	608	221	92	71	3840 (85.4%)	656 (14.6%)	(4496)
女	0	0	44	5	124	14	195	15	209	34	265	37	192	32	89	23	20	8	1138 (87.1%)	168 (12.9%)	(1306)
男女別	≤1M	>1M	≤1M	>1M	≤1M	>1M	≤1M	>1M	≤1M	>1M	≤1M	>1M	≤1M	>1M	≤1M	>1M	≤1M	>1M	(4978)	(824)	
男	419 (95.9%)	18 (4.1%)	(437)	1772 (91.2%)	172 (8.8)	(1944)	1649 (78.0%)	466 (22.0%)	(2115)												
女	168 (89.8%)	19 (10.2%)	(187)	669 (88.6%)	86 (11.4)	(755)	301 (82.7%)	63 (17.3%)	(364)												

は約半数ずつであったが、女では30歳代未満14.5%，31～60歳代57.8%，61歳以上が27.9%であった。死亡退院数は、この5年間に78例（23例，23例，12例，10例，10例）であった。

## 2. 疾患別症例数

WHO の国際疾病分類の第9回修正分類にもとづいて検討した。なお、同一患者で複数の疾患を有する場合は、それぞれの項に含めた。

### (イ) 感染症および寄生虫症

腎結核で入院精査加療したものは、この5年間で、男2例女11例であった（Table 4）

### (ロ) 新生物（悪性，良性）

悪性腫瘍群では、膀胱腫瘍は410例（疑い除く），前立腺癌215例（新患182例），腎癌（成人型 clear cell ca）63例，腎盂尿管腫瘍44例，精巣腫瘍26例等であった（Table 5）。

### (ハ) 内分泌，栄養および代謝疾患ならびに免疫障害

IMP の精査で1～2日の仮入院111例で，その他，無（乏）精子症の精査によるものである（Table 4）。

### (ニ) 泌尿生殖系の疾患

腎疾患では，結石症 1,691例（男1,128例，女563例），腎盂腎炎282例，腎嚢胞164例，水腎症111例，糸球体腎炎101例等がおもであった（Table 6（1）（2））。

尿管疾患では，やはり，結石症2,321例（男1,669例，女652例）が主疾患であった。その他，尿管狭窄51例，VUR 43例である。

膀胱，尿道，前立腺，陰嚢内疾患では，前立腺肥大症1,529例，ついで，精巣上体炎163例，前立腺炎119例等であった（Table 6（3））。

### (ヒ) 先天異常

おもなるものは，停留精巣50例，嚢胞腎38例がおもなるものであった。稀有な例では，骨盤腎3例，下大静脈後尿管3例であった（Table 7）。

### (フ) 損傷および中毒

腎外傷13例はすべて保存的療法にて加療した。尿道断裂21例，精巣破裂9例等が主疾患であった（Table 8）。

### (ホ) 症状，徴候および診断名不明確の状態

尿毒症313がおもなるものであるが，この中には，慢性腎炎，糖尿病性腎炎等が入っているが，現症としてとらえ，この項にすべて入れた。その他，血尿，蛋白尿，腎機能精査の為等であった（Table 9）。

以上，疾患別症例数をまとめると，主要疾患をTable 10に示したごとく，結石症，4,134例（47.2%），前立腺肥大症1,529例（17.5%）が2大疾患であ

Table 4. 感染症および寄生虫症

		1985		1986		1987		1988		1989		計		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
016	泌尿生殖器系の結核													
016.0	腎 (片)	1	5	0	2	1	0	0	2	0	2	( 2	11)	13
	(疑い)							( 1	0)					
096	精巣上体									3		( 3	-)	3

## 内分泌, 栄養および代謝疾患ならびに免疫障害

		1985		1986		1987		1988		1989		計		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
257	精巣機能障害													
(606)	無精子症	0		4		1		1		1		( 7	-)	7
(606)	乏精子症	0		0		1		0		0		( 1	-)	1
(758.7)	XXY症例	0		2		0		0		0		( 2	-)	2
302	性的障害 (IMP)	0		23		40		25		23		(111	-)	111
252.0	副甲状腺機能亢進症	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	( 0	2)	2
270.0	チスチン尿症													
〃	結石	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	( 2	0)	2

った。男女別の主要疾患にも Table 10 のごとく、男では結石症44.9%, 前立腺肥大症23.7%, 女では、結石症53.7%, 腎盂腎炎10.2%がおもなるものであった。

## 3. 手術

入院した症例において、手術の対象となった臓器の組合わせで、術式を分離し、内容別に表とした。また、症例によっては、複数の手術を受けた例や、手術1件につき複数の術式をしたものは、各項に含めた。

(1)腎(尿管): ESWL が圧倒的に多く、ついで、腎嚢胞の窄刺(アルコール注入), PNL である。radical nephrectomy 20例はすべて、成人であり、1985年~1988年にかけて一部札幌医科大学泌尿器科へ腎癌治療研究の為転送させた。腎盂腫瘍、尿管腫瘍の術をまとめると、22例経験している。事情により副腎疾患もすべて大学へ転送させていたが、1989年より、当院で施行している (Table 11)。結石の治療は併用療法、補助療法が加わり複雑であり、おもなる術式を項目の中に入れた (Table 12)。

(2)尿管(膀胱): TUL がほとんどである。尿管鏡を用いた手術を僅かながら経験している。尿管瘤4例に経尿道的に切除している。Reflux もなく、腎機能も正常である (Table 13)。

(3)膀胱: TUR-BT や膀胱腫瘍の再発の確認を含めた TUR-Biopsy, Vesico lithotripsy がおもなるも

のである。事情のある患者に本邦で初めて膀胱結石に対して、1987年より ESWL を3例施行している (Table 14)。

(4)前立腺: 前立腺肥大症はすべて TUR-P を施行している。前立腺癌に対しても、排尿困難な例に施行している。Table の例数は術後組織診断名により振り分けた (Table 15)。

(5)尿道・その他: 環状切開、精管結紮は別途の手術で入院中に患者の要望に答えたものが大多数である。前立腺癌に対しての castration は80歳未満に施行した。その他、AV fistula 93例、外シャント13例施行している。外シャントは最近ではフェモナルチューブに変更している (Table 16)。

(6)おもなる手術術式: ESWL 等 endouriology が上位を占めた。ESWL: 2,589例 (44.6%), TUR-P: 1,295例 (22.3%), UUL: 412例 (7.1%), TUR-BT: 297例 (5.1%) がおもなるものであった (Table 17)。

## 結 語

1985年1月より1989年12月にいたる5カ年間の三樹会病院入院患者手術統計を行った。

1. 患者総数は8,750例であった。

2. 主要疾患は尿路結石症4,134例 (47.2%), 前立腺肥大症1,529例 (17.5%) 膀胱腫瘍410例 (47%), 腎

Table 5. 新 生 物 (悪性)

		1985		1986		1987		1988		1989		計		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
185	前立腺癌	39		24		40		48		31		(182	-)	182
	(疑い)	2		3		0		0		0		( 5	-)	5
	(経過せる)	2		2		12		3		12		( 31	-)	31
	(再発)	2		0		0		0		0		( 2	-)	2
	肉腫の疑い	1		0		0		0		0		( 1	-)	1
186	精巣腫瘍	4		11		3		3		5		( 26	-)	26
	(経過せる)	( 1	-)	( 0	-)	( 3	-)	( 1	-)	( 1	-)	( 6	-)	6
	(転移性)	( 0	-)	2		0		0		0		( 2	-)	2
187	陰茎癌	1		0		0		0		0		( 1	-)	1
188	膀胱腫瘍	47	14	53	13	45	16	44	11	42	18	(231	72)	303
	(疑い)	0	1	2	0	0	0	4	1	4	1	( 10	3)	13
	(再発)	16	4	14	2	11	3	30	4	16	7	( 87	20)	107
	Retrovesical tumor	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	( 0	1)	1
	urethral ca		0		0		0		0		1	( 0	1)	1
189.0	腎癌	6	3	13	0	10	3	7	5	13	3	( 49	14)	63
	(疑い)	1	2	1	1	0	0	2	0	0	1	( 4	4)	8
	(経過せる)	1	0	1	0	1	0	2	0	0	1	( 5	1)	6
189.1														
189.2	腎盂・尿管腫瘍	5	2	5	1	4	1	7	3	9	7	( 30	14)	44
	(経過せる)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	( 2	0)	2
181														
182	子宮癌 (尿路侵襲)		4		2		4		3		0	(	13)	13
	(再発)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	( 0	2)	2
194.0	副腎腫瘍	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	( 1	3)	4
	(疑い)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	( 1	0)	1
154.0	胃腸系ガンの尿路侵襲	0	0	1	2	1	0	3	0	1	0	( 6	2)	8
	尿膜管腫瘍	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	( 2	0)	2
	retroperitoneal tumor	0	0	0	1	1	0	1	0	0	2	( 2	3)	5
	(疑い)							1	0			( 1	0)	1

新 生 物 (良性)

078.1	外陰部コンヂローマ	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	( 4	1)	5
599.3	尿道カルンケル		11		22		19		10		21	(	83)	83
	尿道腫瘍	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	( 2	1)	3
222.4	陰囊腫瘍	1		4		0		0		0		( 5	-)	5
223.0	腎腫瘍 (良性)													
	Angiomyolipoma	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	( 4	1)	5
	膀胱ポリープ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	( 0	1)	1
	尿管ポリープ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	( 0	1)	1
	精索腫瘍	0		1		0		0		0		( 1	-)	1

Table 6(1). 泌尿生殖系の疾患

		1985		1986		1987		1988		1989		計		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
580	急性糸球体腎炎	0	1	0	1	1	1	1	0	1	5	( 3	8)	11
581	ネフローゼ症候群	1	2	4	2	2	0	3	0	1	1	( 11	5)	16
582	慢性糸球体腎炎	8	8	10	13	13	13	8	8	3	6	( 42	48)	90
589	腎の萎縮	2	2	1	3	4	1	5	3	3	1	( 15	10)	25
590.0	腎盂腎炎	10	52	13	48	3	47	14	44	8	43	( 48	234)	282
591	水腎症	15	9	10	9	3	9	6	14	19	17	( 53	58)	111
	腎梗塞	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	( 4	0)	4
	無機能腎	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	( 1	4)	5
593	腎および尿管のその他の障害													
593.5	水尿管(巨大)	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	( 1	3)	4
593.7	V. U. R.	2	6	0	4	2	4	3	14	2	6	( 9	34)	43
	(経過せる)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	( 0	1)	1
	parapelvic cyst	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	( 2	1)	3
593.2	腎囊胞(多発性も含む)	18	13	16	9	17	12	26	12	29	12	(106	58)	164
593.4	尿管狭窄	5	1	9	2	3	1	8	7	10	5	( 35	16)	51
	retroperitoneal fibrosis	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	( 2	1)	3
	腎周囲腫瘍	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	( 1	0)	1

Table 6(2).

		1985		1986		1987		1988		1989		計		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
592	腎および尿管結石 計	573	273	538	193	411	172	657	294	618	283	(2797	1214)	4011
592.0	腎の結石 計	(258	125)	(189	87)	(153	82)	(271	133)	(257	136)	(1128	563)	1691
	腎結石													
	単発性 (両)	33	8	20	5	14	11	17	8	21	9	( 105	41)	146
	(片)	139	62	98	41	70	37	137	61	116	42	( 560	243)	803
	多発性 (両)	5	3	9	2	9	3	15	10	13	11	( 51	29)	80
	(片)	11	6	8	8	8	1	22	15	26	14	( 75	44)	119
	鑄型結石 (両)	7	2	5	2	1	0	1	1	3	0	( 17	5)	22
	(片)	11	26	16	8	9	7	7	23	7	19	( 50	83)	133
	(経過せる)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	( 1	0)	1
	腎杯憩室結石	4	1	0	0	1	4	0	0	0	0	( 5	5)	10
	腎・尿管結石 (両)	8	2	7	3	14	4	13	9	17	6	( 59	24)	83
	(片)	40	15	26	18	29	15	59	13	54	36	( 208	97)	305
592.1	尿管の結石 計	(315	148)	(349	106)	(258	90)	(386	161)	(361	147)	(1669	652)	2321
	尿管結石													
	単発性 (両)	6	2	6	5	5	0	2	0	5	5	( 24	12)	36
	(片)	309	146	339	100	250	89	380	160	355	141	(1633	636)	2269
	多発性 (両)	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	( 5	0)	5
	(片)	0	0	3	1	1	0	2	1	0	0	( 6	0)	5
	尿管瘤結石	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	( 1	2)	3
594	下部尿路の結石 計	22	3	19	4	20	1	22	8	19	5	( 102	21)	123
594.1	膀胱結石	18	3	18	4	20	1	19	8	17	5	( 92	21)	113
594.2	尿道結石	4	0	1	0	0	0	3	0	2	0	( 10	0)	10

Table 6(3).

		1985		1986		1987		1988		1989		計		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
595	膀胱炎													
595.3	尿道膀胱炎 (放射線性)	4	3	5	7	4	5	0	6	0	1	( 13	22)	35
		0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	( 0	3)	3
596.0	膀胱頸部硬化症	5		0		1		1		0		( 7	-)	7
596.3	膀胱憩室 (大)	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	( 3	-)	3
586.8	萎縮膀胱	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	( 1	1)	2
598	尿道狭窄 (術後)	23	2	25	1	7	0	14	0	21	0	( 90	3)	93
		0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	( 3	0)	3
600	前立腺肥大症 (経過)	277		316		342		303		291		(1529	-)	1529
		( 11	-)	( 16	-)	( 23	-)	( 25	-)	( 10	-)	( 85	-)	85
601.0	前立腺炎 (急性)	21		21		31		26		20	0	( 119	-)	119
603	陰囊水腫	5		4		10		5		8		( 32	-)	32
604	精巣炎 (耳下腺炎性)	1		4		4		1		1		( 11	-)	11
		4		4		1		1				( 10	-)	10
	精巣上体炎 (両)	32		34		38		38		21		( 163	-)	163
		( 3	-)	( 0	-)	( 1	-)	( 0	-)	( 0	-)	( 4	-)	4
605	包茎 (嵌頓包茎)	2		8		5		4		3		( 22	-)	22
607	陰茎の障害 (化膿)	0		0		0		0		1		( 1	-)	1
607.0	陰茎硬結	0		1		0		0		1		( 2	-)	2
608	男性生殖器のその他の障害													
608.1	精液瘤	0		1		3		3		0		( 7	-)	7
	精索水腫	0		0		1		0		0		( 1	-)	1
(456.4)	精索静脈瘤													
608.2	精巣捻転	9		5		8		7		2		( 31	-)	31
	精巣垂捻転	2		3		2		3		0		( 10	-)	10
608.8	精巣萎縮	1		1		0		1		0		( 3	-)	3
608.8	精管結紮状態	3		3		1		0		1		( 8	-)	8
618	膀胱脱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	( 0	1)	1
599.5	尿道脱	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	( 0	5)	5
619.0	尿管と女性生殖路間の瘻	0		0		1		2		0		( 3		3
	膀胱と女性生殖路間の瘻	3		1		0		0		0		( 4		4
596.1	膀胱直腸瘻	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	( 0	1)	1
599	尿道・皮膚瘻	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	( 2	0)	2
596.2	膀胱瘻	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	( 1	0)	1
997.5	腎瘻状態	2	1	0	0	0	2	1	0	2	2	( 5	5)	10
	ブリッカー状態	1	0	0	0	0	1	3	2	1	0	( 5	4)	9
	尿管皮膚瘻	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	( 1	2)	3
	シェレー術後状態	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	( 0	1)	1
	陰囊瘻孔	0		0		1		0		0		( 1	-)	1
	陰囊腫瘍	0		0		1		1	0	1	0	( 3	0)	3





Table 9. 症状, 徴候および診断名不明確の状態

		1985		1986		1987		1988		1989		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
788	泌尿系に関する症状												
788.0	腎(腹)部疼痛	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	(1)	3)
788.2	尿閉	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	(2)	0)
788.3	尿失禁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	(0)	1)
788.5	乏尿	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	(1)	1)
	(浮腫)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	(1)	2)
(586)	腎不全(尿毒症)	35	46	37	33	37	23	28	26	24	24	(161)	152)
791	尿検査の非特異的所見												
791.1	蛋白尿	0	0	1	0	5	4	0	6	2	5	(8)	15)
(599.7)	血尿	5	7	0	0	3	1	2	2	1	4	(11)	14)
	腎出血	0	0	2	3	1	0	2	4	0	0	(5)	7)
780.6	発熱	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	(1)	1)
	出血	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	(2)	0)

Table 10. 主疾患(1985~1989年度)

1. 尿路結石症(上部・下部)	4,134例(47.2%)
2. 前立腺肥大症	1,529例(17.5%)
3. 膀胱腫瘍(再発含む)	410例(4.7%)
4. 腎不全	313例(3.6%)
5. 腎盂腎炎	282例(3.2%)
6. 前立腺癌	182例(2.1%)
7. 精巣上体炎	167例(1.9%)
8. 腎嚢胞	164例(1.9%)
9. 前立腺炎(膿瘍化)	119例(1.4%)
10. 水腎症	111例(1.3%)
(総数 8,750例に対する割合)	
男の主疾患	
尿路結石症	2,898 (44.9%)
前立腺肥大症	1,529 (23.7%)
膀胱腫瘍	318 (4.9%)
前立腺癌	182 (2.8%)
精巣上体炎	167 (2.6%)
その他腎不全, 前立腺炎, 腎嚢胞等	
(男 6,452例に対する割合)	
女の主疾患	
尿路結石症	1,234 (53.7%)
腎盂腎炎	234 (10.2%)
腎不全	152 (6.6%)
膀胱腫瘍	92 (4.0%)
腎嚢胞	58 (2.5%)
その他水腎症, 糸球体腎炎, VUR 等	
(女 2,298例に対する割合)	

Table 11. Operation; Kidney (Ureter)

	1985	1986	1987	1988	1989	計
Radical nephrectomy	0	4	2	4	10	20
Nephrectomy	2	5	1	1	4	13
Renal cyst puncture	22	20	17	30	34	123
Removal of renal cyst	0	0	1	0	0	1
ESWL	487	390	293	721	695	2586
PNL	6	15	29	4	11	65
Nephroureterectomy with cuff resection	6	2	2	5	7	22
Pycloplasty	1	1	0	0	0	2
Open biopsy	8	13	11	6	2	40
Renal needle biopsy	1	0	0	0	1	2
PNS	21	21	8	6	12	74
Operation; Adrenal, Retroperitoneum						
	1985	1986	1987	1988	1989	計
Adrenalectomy	0	0	0	0	1	1

Table 12. ESWL を用いた上部尿路結石に対する治療方法  
(治療対象結石症例数) 1985~1989

治 療 方 法	腎	鑄 型	腎尿管	尿 管	下部尿管	腎・下部	計
ESWL 単独	958	43	48	192	124	15	1380
ESWL + PNS	15	18	3	3	1	0	40
ESWL + PNL	8	16	0	1	0	0	25
ESWL + URS (Stent)	68	3	124	666	76	11	948
ESWL + TUL	18	7	3	9	7	2	46
ESWL + MEATOTOMY	14	3	0	1	0	0	18
ESWL + PNS + MEATOTOMY	2	1	0	0	0	0	3
ESWL + URS + MEATOTOMY	1	0	0	2	0	0	3
ESWL + PNL + TUL	1	4	0	1	0	0	6
ESWL + PNS + TUL	1	10	3	1	0	0	15
ESWL + TUL + MEATOTOMY	0	1	0	1	0	0	2
ESWL + URS (押し上げ)	8	0	5	55	0	0	68
ESWL + URS (押) + TUL	0	1	0	2	1	0	4
ESWL + PNS + URS	4	0	1	2	0	0	7
ESWL + PNS + TRS (押)	0	0	0	1	0	0	1
ESWL + URS + TUL	8	0	6	30	17	0	61
ESWL + D.J	47	59	4	2	2	0	114
ESWL + D.J + PNS	2	2	0	0	0	0	4
ESWL + D.J + PNL	1	4	0	0	0	0	5
ESWL + D.J + PNS + TUL	3	3	0	1	1	0	8
ESWL + D.J + TUL	1	4	2	1	3	0	11
計	1159	179	200	971	232	28	2769
1985年	487名	518例					(不詳 1)
1986年	390名	432例					URS : Uretero reno-scopy
1987年	293名	321例 (不詳 1)					
1988年	721名	765例					
1989年	695名	733例					
	2589名	2769例					

Table 13. Operation; Ureter (Bladder)

	1985	1986	1987	1988	1989	計
Ureterolithotomy	1	0	0	0	1	2
TUL	136	87	64	62	63	412
Ureteroplasty	4	1	2	3	0	10
Ureterolysis	0	0	0	1	0	1
Resection of polyp	1	0	0	0	0	1
Antireflux opration	5	2	3	1	1	12
TUR-Ureter tumor	0	0	1	0	1	2
TUR-Ureteroclectomy	0	1	2	1	0	4
TU-Teflon infusion	0	0	0	9	5	14
Ureteroscopic ureter polyp resection	0	1	1	0	0	2
Ureteroscopic ureteral stricture plasty	0	2	0	0	0	2

Table 14. Operation; Bladder

	1985	1986	1987	1988	1989	計
Total Cystectomy	2	7	4	5	4	22
Partial Cystectomy						
Correction of Incontinence						
Vesicolithotomy	2	2	1	2	3	10
Vesicolithotripsy	17	17	17	21	24	96
ESWL	0	0	1	1	1	3
TUR-BT	55	56	58	63	65	297
TUR-Biopsy (polyp)	10	6	20	12	16	64
TUR-BNC	1	1	3	3	0	8
TUR-EC	2	0	0	1	0	3
Cystostomy	1	7	2	2	0	12
Correction of Bladderupture	1	0	0	0	0	1

Table 15. Operation; Prostate, seminal vesicle &amp; scrotal content

	1985	1986	1987	1988	1989	計
Prostate						
TUR-Prostate	231	245	298	244	277	1295
Cancer	31	20	31	35	31	148
(biopsy)	0	0	0	1	4	5
TUR-P (BT' invasion)	0	0	1	1	0	2
Needle biopsy	2	6	10	3	1	22
Cryo-P	8	2	0	0	2	12
Scrotal Content						
Orchiectomy (high position)	8	13	1	3	5	30
Castration	14	13	9	10	4	50
(Orchiectomy)	(0)	(1)	(1)	(0)	(3)	(4)
(bilat.)	4	4	2	1	1	12
(Rt.)	4	3	5	4	1	17
(Lt.)	5	4	0	4	1	13
Repair of the ruptured testis	0	0	3	1	0	4
(orchietomy)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)
Torsio testis (repair and pexy)	9	0	1	1	1	12
(orchietomy)	2	0	5	0	0	7
Resection of Apex testis	2	2	0	3	0	7
Epididymectomy	1	0	1	6	0	8
Hydrocelectomy	5	5	7	6	3	26
(Window' op)	(0)	(0)	(2)	(1)	(4)	(7)
Varicocelectomy	1	1	1	1	0	4
Spermatocelectomy	0	0	2	0	0	2
Testicular Biopsy	2	6	0	3	4	15
Vasectomy	0	1	0	1	1	3
Vaso-vaso-stomy	2	4	2	0	1	9
Excision of scrotal abscess & hematoma & Tumor & biopsy	3	6	0	2	10	21
shunt						
(A-V shunt)	26	19	12	16	20	93
(ext-shunt)	10	0	2	0	1	13

Table 16. Operation; urethra &amp; penis

	1985	1986	1987	1988	1989	計
<b>Urethra</b>						
Urethroplasty (pull through)	1	2	1	0	0	4
TUR-urethral ca	0	0	1	0	0	1
TUR-polyp	2	1	0	2	3	8
TUR-biopsy	0	1	0	3	1	5
TUR-Urethral stricture cut	6	15	4	4	3	32
TU-Ureteroscopic Bougienage	0	0	4	0	2	6
TU-Urethral plasty (Urethral rupture)	0	0	0	1	0	1
Urethro-lithotomy	0	1	0	1	0	2
Resection of the prolapsed Urethra	2	0	0	1	1	4
Bougienage (TUR)	4	5	2	0	9	20
<b>Penis</b>						
Amputation	1	0	0	0	0	1
Phymotomy (circumcision and/or dorsal incision)	3	9	5	2	5	24
Correction of penis anomaly (phalloplasty)	0	0	1	0	1	2
Ligation of penile superficial veins (IMP)	0	2	0	1	6	9
Excision of the penile foreign body	1	1	0	0	1	3

Table 17. Main operations

1. ESWL	2,589 (44.6%)
2. TUR-P	1,295 (22.3%)
3. TUL	412 (7.1%)
4. TUR-BT	297 (5.1%)
5. TUR-Pr. ca	148 (2.6%)
6. Renal cyst puncture	123 (2.1%)
7. Vesicolithotripsy	96 (1.6%)
8. A-V fistula formation	93 (1.6%)
9. PNS	74 (1.3%)
10. PNL	65 (1.1%)

不全313例 (3.6%), 腎盂腎炎 282 例 (3.2%) であった。

3. おもなる手術術式は endourology が中心で

ESWL: 2,589 (44.6%), TUR-P: 1,295 例 (22.3%) の他, TUL, TUR-BT, renal cyst puncture 等であった。

## 文 献

- 1) 坂 文敏, 中嶋久雄, 大西茂樹, ほか: 東札幌三樹会病院における臨床統計 (第4報), 開設より5ヶ年余の入院および手術統計. 泌尿紀要 **31**: 1751-1759, 1985
- 2) 丹田 均, 加藤修爾, 大西茂樹, ほか: 東札幌三樹会病院における臨床統計 (第5報), 1984年度入院患者統計. 泌尿紀要 **31**: 1995-2002, 1985  
(Received on March 6, 1991)  
(Accepted on March 14, 1991)